

葬儀の現場から ちょっといい話



先日担当させて頂いたご当家のお話です。

故人様はお酒が好きな方で、若い頃から家族や親戚友人らとの酒席が特に好きだったそうです。朗らかな人柄ゆえに、周りには自然と人が集まり、その集まりの中ではムードメーカー的な存在で、にぎやかな場と人との縁を何よりも愛された方だったそうです。

そんな故人様のエピソードを耳にし、祭壇にはお好きだった日本酒をお供えし、他の好物と共に棺の中にお納めできる様こちらで準備していました。

最後のお別れの時のことです。喪主を勤められたご長男様から順番に、お酒を浸した櫛で口元を湿らせ飲ませてあげて下さいとご案内しました。ご長男様は、最初はお父さまの口元にお酒を運んでいたのですが、「父ちゃん一緒に飲もう」と言ってご自身も櫛の葉でお酒を飲まれたのです。ご長男様は仕事で県外に住まれており、故人様も晩年は闘病生活でお酒を飲むことができなかったそうで、久しぶりに親子二人で杯を交わされたその光景がとても温かく印象的でした。

一時ではありましたが、親子で酌み交わす久しぶりのお酒は美味しかったのではないのでしょうか。きっと、亡くなったお父さまにもそのお酒の味、そして息子さんの声は届いていたと思います。心温まる一瞬を共に過ごせたこと、この仕事をしていて良かったと思う一時でした。



首藤亮太

スタッフコラム



職業柄、季節を問わず不規則な食生活になりがちです。食事時間はバラバラで、式の時間や状況によってはお昼ご飯を食べられないこともあります。夜ご飯は自宅に帰ってから、となると深夜になることも…。

そんな不規則な生活のせいなのか、はたまた空腹を満たすためにつまむお菓子のせいなのか(；_；)Aよくお客様から「葬儀の担当をした人に久々に会うと、以前よりポッチャリとしていた…」もしくは「誰?と思った」という声を頂きます(；_；)不思議と入社当時は標準体型だったスタッフも、ポッチャリとした愛嬌良い体型に…。

そんなお昼ごはんがいつものように遅くなったある日、コンビニに立ち寄った時のことです。レジに並ぼうとしたのですが、店員さんは私に背を向けて作業をしていました。人間お腹が空いているとダメですね。少し待っただけでイライラしてしまいます。店員さんはすぐに気付いてくれ『今からお昼ですか?大変ですね〜』と笑顔で声をかけてくれました。さっきまではイライラしていた私でしたが『そうなんですよ〜ベコベコです』とすっかりご機嫌モードです。店員さんがかけてくれた労りの一言が、マジックのように気持ちを浮上させてくれたのを感じて、同じサービス業をしている身としては見習わないといけないなと思ったのでした。

そして職場はというと、見習えない食生活にぽっちゃりとした体型(；_；)仕事の上では見習う事も多く、非常に頼もしい同僚たちなのですが…。これだけは見習ってはいけない、せめて私だけでも久々に会ってもすぐに分かってもらえる様、体型も含め維持していきたいと思いました(；_；)



岩佐いほり

四国へんる道

第22番札所【白山水 医王院 平等寺】(はくすいざん いおういん びょうどうじ)

【～ご詠歌～ 平等にへだてのなきと聞く時は あら頼もしき仏とぞみる】

弘法大師がこの地で修業中、五色の雲の中から金色の梵字が現れ、薬師如来の尊像に姿を変えました。さっそく仏様を供養するために、清い水を求めて杖で井戸を掘ったところ、乳のような白い霊水が湧き出でました。その霊水で身を清め、修行の後に薬師如来像を刻まれ、本尊として安置されたと伝えられています。白い霊水が湧き出でたことから山号を白水瓶とし、一切衆生を平等に救済されるようにと寺号を平等寺と定められたそうです。



天正の兵火によって消失しましたが、江戸時代中期に再興され現在に至っています。本堂の天井はその頃に描かれたもので、長い年月を経た現在でも色鮮やかに天井を彩っています。本堂に上がる階段の左手には、山号の由来になった弘法大師が掘られた「白水の井戸」があります。霊水の霊験については数々の逸話があります。

お医者さんから匙を投げられた足の不自由な方が、「箱車」という現在の車椅子に似たもので訪れた際、階段を上ることが出来ない為、階段下でお参りし井戸の霊水を飲んだところ、次第に足が動くようになったそうです。霊験を授かるべく毎日のようにお参りし霊水を飲んだところ、すっかり回復し自分の足で階段を上り、本堂に箱車を奉納していったと伝えられています。今も本堂横には何台かの箱車が奉納されています。

現在霊水は無色透明で「弘法の霊水」と呼ばれ万病に効くと評判です。その場で飲むこともできますし、有料ではありますが持ち帰れるよう容器が準備されています。

緑深いこの時期に霊水で心を清め、高台の本堂からゆったり風を受けながら景色を見るのも良いのではないのでしょうか。

今回は第23番札所【医王山 無量寿院 薬王寺】をご案内いたします。



佐伯政俊

ドリーマー社員大募集!! まずはお電話を!!

ドリーマーではお客様にご満足していただけるサービスを提供するためスタッフを募集しております。

【正社員】 基本給 187,000円～
293,000円
(休日/月6日、有給あり、賞与年2回、社保完備)



【献茶スタッフ】 時給 800円～1,100円
(出勤可能な希望日 要相談)
セレモニーにおける会館でのお飲み物のお配りや、式場のご案内など接客が主な仕事です。



お仕事をお考えの方!! 私たちと一緒に働きましょう!! 未経験からはじめたスタッフがほとんどです。知識経験がなくてもマンツーマン指導で、しっかりと仕事を覚えることが出来る環境です。ご連絡をお待ちしております。

【営業パート】 時給 800円～1,500円
(週4日)



冠婚葬祭においてドリーマー会員の必要性を伝えながら、会員募集営業をするお仕事です。

募集に関するお問い合わせは

0897-35-1110

担当 戸田



まもる みらい あい

まほろば

第44号



株式会社ドリーマー
ご葬儀かわら版

☎0120
44-5880